

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律第 13 条第 1 項に基づく拡散防止措置の確認について

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律第 13 条第 1 項に基づき申請があった遺伝子組換え微生物の第二種使用等拡散防止措置について、薬事・食品衛生審議会生物由来技術部会動物用組換え DNA 技術応用医薬品調査会の審議を経て、遺伝子組換え微生物に応じて執るべき拡散防止措置の内容を確認しました。

申請に基づく確認の概要は以下のとおりです。

申請に基づく拡散防止措置の確認の概要

○ 第二種使用等 3件

事業者名	遺伝子組換え生物等の種類の名称	遺伝子組換え生物等の区分	利用目的	確認日
一般財団法人日本生物科学研究所	無毒変異型志賀毒素 2e 型遺伝子導入大腸菌 8-3-6 株	GILSP	産業利用	平成29年3月7日
日本全薬工業株式会社	ネインターフェロン・アルファ遺伝子導入カイコバクテリオウイルス S-BmfeIFN- α 株	その他	産業利用	平成29年3月7日
株式会社微生物化学研究所	猫白血病ウイルス <i>env</i> 遺伝子(gp70)導入大腸菌 pEL 株	GILSP	産業利用	平成29年3月9日

(注) 遺伝子組換え生物等の区分

GILSP： 特殊な培養条件下以外では増殖が制限され、病原性がないこと等のため、最小限の拡散防止措置を執ることにより使用等を行うことができるもの。

その他： 特殊な培養条件下以外では増殖が制限され、ヒト以外の特定の生物に特殊な接種を行うこと以外には病原性は表れないものとして、**GILSP** 相当の拡散防止措置を執ることにより使用等を行うことができるものと評価されたもの。

問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局

農産安全管理課 中澤、島村 TEL：03-3502-8111(内線 4510)

畜水産安全管理課 相原、岩本 TEL：03-3502-8111(内線 4532)